

ほんごう一彦県政報告

令和2年県政の窓を通して活力ある

松本市・東筑摩郡を実現します



長野県議会議員
自由民主党県議団
相談役本郷一彦

県議会関係主要課題と対応策

松本地域・東筑摩郡関係主要課題と対応策

1. 信州まつもと空港の国際化実現について

平成30年における私の本会議の代表質問に対し、知事より令和4年に国際化への正式な答弁があり、実現に向けてのステージがスタートしています。国際便ターミナル、税関・検疫・出入国等、各省との交渉等、山積する課題の検討が行われ、駐車場の増設、GPS導入の調整など空港施設の機能強化の動きが進んでいます。

2. 三才山トンネルの無料化について

代表質問の中で、トンネルの無料化の前倒しを知事より答弁を得ることができ、本年9月1日より無料化が実現します。

3. 青木峠バイパスの事業促進について

松本と上田地区を結ぶ主要東西路線（国道143号）の最後の課題である青木峠バイパスは国の補助事業として採択となりました。現在、工事着手に向けた測量・調査が進んでいます。

4. 幹線道路の整備促進について

中部縦貫道は北陸と首都圏を結ぶ国家事業であり、松本市はその中央に位置し極めて重要な幹線道路であります。県内の全線実現に向け、積極的な活動をしてまいります。また、国道158号の奈川渡改良は工事が進められ、狸平地先のトンネルによる改良も設計が進められています。これらの事業の早期完成に向け努力いたします。

5. 松本城の世界遺産登録に向けて

世界遺産登録暫定リストへの登録をめざして、犬山市、松江市との連携を支援するなど、積極的に活動してまいります。

6. 松本市の更なる進化をめざして

各種シンクタンクの調査において、日本の都市特性評価都市魅力度ランキングで松本市は全国約1700ある市町村の中で政令市と肩を並べて上位にランクされ、県内において突出した位置づけであり、さらに旧開智学校が2つ目の国宝に指定されるなどのビッグニュースを活かし、経済・教育・芸術文化・スポーツ・観光・環境等一層のグレードアップに努力してまいります。

7. 東筑摩郡の活力ある地域づくりをめざして

特色ある村づくりを実施する5村の農業の再生を軸に、人口減少対策、道路整備、滞在型観光の振興等、小規模自治体の更なるコンテンツの充実に努力してまいります。

8. 上高地・梓川の河床上昇対応について

昨年は防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策事業として採択され、大幅に予算が増加しました。今後も、国交省、環境省とも連携を取りながら、更なる対応及び実施に向け取組んでまいります。

9. スポーツ振興について

7年後の国体開閉会式の主会場に決定した松本市の陸上競技場は130億円かけての建替えが決まり、サンプロアルウィンについても一層の施設の充実に努めてまいります。

10. 総括

高いポテンシャル都市松本市は東筑摩郡との広域連携を図り、共生の理念のもと県下をリードする地域に他なりません。人口減少、超高齢化社会にあって、医療・介護・子育て・福祉・女性が輝く社会を持続可能にたらしめる為にも、昨年オープンした県のAI活用／IoTデバイス事業化・開発センター等も活用し、5G化も見据えて商工業・農業のAI・IoT化と振興を図り、また、JR村井駅の駅舎及び周辺整備により松本市南部の副都心のインセンティブを誘因するなど、各分野において戦略的政策を造形してまいります。その為に県・松本市・東筑摩郡5村との連携を一層密接にしていく決意でありますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願い致します。



提供：長野県松本地方事務所

